

旭ヶ丘

学園だより

No.4

編集・発行

高知高等学校

高知高等学校PTA

平成27年12月17日発行

皆さんの変化が学校を変える



学校長 森 暁

去る十月十日、十一日と、好天に恵まれて学園祭が開催されました。隔年に開催していた文化祭でしたが、生徒の皆さんの要望に応えて、昨年度に続いての開催となったものです。その案内パンフレットに私から生徒に与えたメッセージです。

まずは、本校が一六六年もの永きにわたって人材を育て、世に送り出してきたこの歴史に思いをはせたい先輩方が築いてこられた校風には実践力・実行力・生き抜く力がみなぎっているそこにプライドと勇気を

持つて品位と情熱を加えみなぎる笑顔で味付けをして。我が高知学園のおもてなしの心が届く学園祭でありたい

生徒の皆さんは次のスローガンを掲げました。

最高の仲間と最高の思い出を

書家で書道の講師を務めてくださっている高野芳久先生が、皆さんのこの言葉を、体育館で生徒を前に豪快な書道パフォーマンスにより、力強くも温かさあふれる書の作品に仕立ててくださいました。生徒も大変感動したことと思います。高野先生からの熱い応援です。大変ありがたく感謝申し上げます。

私は、このところ、本校の生徒諸君の表情や動き、取り組み方に変化が出始めたと思



思っています。部活動での厳しく、たゆまぬ練習の間をぬって取り組んだ学園祭への準備の中に見られる皆さんの動き、企画から、分担、協力といった一連の動きの中に、これまでは明らかに違う確かさ・安心感が見られました。教室の飾り方、笑顔やあいさつといったもてなしの表情にも成長がみられるようになってきたととらえています。自分たちが掲げたスローガンのおとし、学園祭を大切にしようとする姿勢が貫かれておりました。

対話力など、少しずつ高まってきたのではないのでしょうか。些細ではあるものの毎朝の読書の積み重ね、学ぶ姿勢へのスイッチの切り替え、こうした努力が少しずつ皆さんを変えていると思います。この変化は、進路を考えるうえでの真剣さや実行力にしっかりとつながっていくはずで

す。お互いがお互いを高め合う学校文化が根付くことを楽しみにしています。

さて、この十月にはラグビーの二〇一五ワールドカップでの日本勢の活躍が世界を驚かせました。予選プール三勝を上げながら敗退したことは悔しいですが、日本人にとって、ラグビーをこれほど身近にさせる試合はなかったのではないでしょうか。続いては、体操の世界選手権において、日本男子が実に三十七年ぶりという優勝を勝ち取りました。活躍した五郎丸歩選手や内村航平選手、白井健三選手といった方々に私が感動するのは、彼らが自分の立ち位置や考え方を、目標、心境といったものを実にさわやかに分かりやすく語ってくれていることです。語る言葉が豊かであるということ、それは同時に考える言葉が豊かであるということ。個性が豊かであること、個性が輝くプレーに上り詰めることなどありえないのでしょうか。日々の厳しい練習を通して反

射的な動きを鍛えることはもちろんのこととして、ラグビーのジョーンズ・ヘッドコーチは、(場面、場面で、その人の判断と独創的な考えが合わさったプレーができること)を求めています。

本校では、たくさんの生徒が日々さまざまな部活動に参加し、厳しい練習を重ねています。そんな姿に私は感動をおぼえます。中学高校時代の成長期にその貴重な時間を部活動に傾けること、それは何にも代えがたい挑戦であると考えています。皆さんの努力の汗が、十年先、二十年先、そして一生、宝物のごとく慈しまれるものとして残ってほしいと思うのです。

そのためには、日々求められるトレーニングを単純に積み上げるだけでなく、意味を理解し、積極性をもって受け止めること、さらに、自分の身体に合った独創性を磨くことにも挑戦してほしいのです。ジョーンズ・ヘッドコーチの求める姿勢に耳を傾けてほしいのです。考える力を磨くこと、それは考える言葉を磨くことに通じています。ならば、そこにスポーツする皆さんが求めるべき(文武両道)が間違いなくあるはず。どうした一人ひとりの小さな意識の変化が、お互いを大きく成長させることにつながります。これこそが若さのエネルギーです。これが、学園を変容させ、そのことがまた、皆さんにフィードバックされるのです。



学園祭



「学園祭が開催されました」

(高校特活部)

平成二十七年十月十日(土)・十一日(日)の両日に、学園祭が開催されました。今年のスローガンは、「最高の仲間と最高の思い出を」。

準備日に充てられた十月九日(金)が学園祭のスタートです。開会式では、全校生徒が見守る中で、高野芳久(奇峭)先生による書道パフォーマンスが行われました。静まり返った体育館のフロアで先生が、「最高」「仲間」「思い出」という文字を書かれると、三年間先生の授業を受けてきた高三生徒が四名呼ばれて筆をとり、「の」「と」「の」「を」のひらがなを一字ずつ書き入れて、作品が完成しました。彼らは運動部のキャプテンでもあり、中央に書かれた「最高」の文字と、「仲間」「思い出」をつなげる四つの文字を書くのにふさわしいと高野先生の推薦を受けて、この場に出てきてくれたのです。

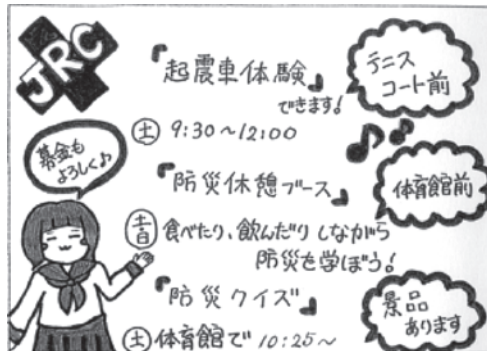
夕方遅くまでかかった準備が完了し、いよいよ学園祭当日を迎えました。

*「PTAバザー」ご協力に感謝します。



【学園祭 高校一年生】

各クラスの出し物は腕相撲大会(一組)、無料縁日(二組)、射的(三組)、くらやみ迷路(四



*「JRC(青少年赤十字)部」たくさん募金ありがとうございました。赤十字社を通じて寄付させていただきます。

【学園祭 高校二年生】

二年生からは食品を扱い、販売できるということで一学期から楽しみにしていました。各クラスぎりぎりまでメニューや企画を考案しました。はじめての販売ということで、赤字にならないようにと計算したり、業者の方に交渉したりしたことは、教室内の勉強では得られない良い社会勉強になりました。学年の取り組み課題として、昨年は大きな垂れ幕で自分たちの宣伝をしましたが、今年は看板を階段

組、手作りうちわ(五組)、的当てゲーム&ボディペイント(六組)でした。全てが初めてのことで戸惑うことも多かったようですが、各クラス試行錯誤しながら当日を迎えました。

二日間は大変盛況で、多くの来場者をもてなすことができました。

また、学年としての取り組みでは『スタンドグラス』作りに取り組みました。各クラスで分担をして「GAKUEN二〇二五」の文字を仕上げ、二階の廊下には展示しましたが、大変きれいで大成功であったように思います。

(高一年主任 明神真紀)

三年連続の学園祭となった高三は、「行事大好き！」という学年で、最後の学園祭もいつものパワーで楽しみました。お祭り広場では、焼き鳥、フランクフルト、ラーメン、フライドポテト、わた菓子などを販売。校舎内では、動画上映、軽食販売、お化け屋敷というクラスがありました。入試等の合間を縫っての準備でしたが、三年連続の経験が生きて

【学園祭 高校三年生】



の柱に取り付け、より近くで宣伝ができて良かったと思います。全員が参加してやり遂げた充実感が表情に表れて、生徒たちの成長を感じることができました。

(高二学年主任 岡本香奈)



(?) 短い準備期間で、御来場のお客様をもてなすことができました。

(高三学年主任 杉村秀樹)



【生徒の声】

生徒会長 浅川悠晴

今回の学園祭で、私自身四回目の学園祭参加となりましたが、今年の学園祭は「生徒会長」という名を背負っての参加となりました。いつもとは違い、体育館の出し物を考えたり、ゲストを呼ぶことを企画したり、またPTAや旭駅前商店街との協力を計画したりなどということにも取り組みました。そして、その合間をぬってクラスの看板作成の手伝いや、販売する商品の発注などのクラスでの取り組みの準備もしました。本番当日は、生徒会で動くことが多く、一日目はあまり学園祭を見学することが出来ませんでした。二日目は生徒会の仕事に余裕があったので、クラスの手伝いに励んだり、同級生や他校の友人と話をしたりして楽しく過ごすことができました。このように、今年の学園祭は私にとって今までで一番充実したものとなりました。

今回、生徒会長という立場で学園祭に臨んでみて、改めて集客することの難しさを感じました。しかしその一方で、

お客さんを招く上での、掃除の徹底やごみの分別などが出来ていたことはとてもよかった点だと思います。良かった点、改善すべき点それぞれ出しましたが、今回の学園祭を存分に楽しめたということが、私にとっても学園祭に参加したみなさまにとっても一番良かったことなのではないかと思っています。

【生徒の声】

学園祭 実行委員長

五十嵐良

今回の学園祭は、全体を通してよかったのではないのでしょうか。クラスの出し物は、一年生がお客さんが楽しめるようなゲーム、二・三年生のほとんどが外に店を出し、おいしい食べ物や販売していました。それに、様々な

工夫があり、とてもおもしろかったです。

また、全体イベントとして防災クイズやビンゴ大会などの楽しい内容がたくさんあり良かったと思います。



九月二十三日(水)イオンモール高知で、今年で三回目となる「GAKUEN festa二〇一五」を開催しました。「来て、見て、感じる学園の一日」というテーマで幼稚園・小学校・中学高等学校・短大・リハビリテーション学院がそれぞれの学校の楽しさや魅力、そして総合学園としての伝統と絆をアピールすることができました。

当日は、人気の吹奏楽部の素晴らしい演奏と、0歳児から参加できるコンサートで多くの人を集めるとともに、理科実験コーナーでは芳香剤づくり、自分だけの新聞やバッグづくり、スタンプラリーや



学園フェス 「GAKUEN festa二〇一五」を終えて

お楽しみ抽選会などたくさんの人に楽しんでもらいました。また、テレビや新聞でも紹介があり、学園の魅力を知ってもらった機会を得ることができたと思います。

当日、参加してくださった保護者の方や生徒の皆さん、ありがとうございました。
(中学教頭 久保明弘)



クラスマッチ

高3 (高知市総合運動場) 総合優勝：2組 第2位：1組 第3位：4組



高2 (高知県民体育館) 総合優勝：4組 第2位：2組 第3位：1組



高1 (学校) 総合優勝：1組 第2位：2組 第3位：6組

第六回私学振興大会



PTA副会長

山岡 美保

十月十八日にRKCホールにて開催されました第六回私学振興大会に多くの教職員、保護者の皆様のご出席をいただきありがとうございます。須崎市や香美市など遠方からもご出席いただき本当に感謝申し上げます。

当日は尾崎高知県知事のご臨席を賜り、会場の雰囲気も保護者の熱気の中にきりりと緊張感を含んでいました。

高知県私立中学高等学校連合会会長を務められております森校長のご挨拶では、高知県の私立高等学校の生徒一人

当たりの補助金額が平成二十四年、二十五年、二十六年と増加しているとの報告をいただきました。尾崎知事も各校の保護者の声を熱心に聞いていただき、時にはメモを書いている様子でした。

大会スローガンでは「高知県私学教育の可能性を最大限に発揮するために」、「私立高等学校等の経常費補助の維持・拡充」そして「保護者の教育費負担の公民間格差の是正」を掲げています。近年補助金額が増加しているのは、前年、それ以前の先輩保護者方々の熱心な想いが実を結んだのです。現在の私たちもその想いを繋げていかないと来年、それを以降の保護者、そして子供達に大きな負担を強いることになります。このことをご理解いただき、今後とも是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。

保護者の声

尾崎高知県知事をはじめ、高知県私学振興議員連盟の皆様、県の私学振興関係の皆様、

本日は、お忙しいなか、私ども私学へ子どもを通わせる保護者の想いを聞いていただける機会をつくっていただきまして、ありがとうございます。私は、高知中学高等学校保護者の杉本と申します。

先ほどから、県内各私学の保護者の皆様からの我が子を私学に通わせることの想いや、それを続けていくための決意や要望をお聞きしていました。が、どの保護者も想いは同じなのだ改めて強く感じることでできました。これから、耕地中学高等学校の保護者を代表して、私学に対する想いを述べさせていただきます。と思います。

私も、小学校一年生の時から地元の小公立小学校ではなく、私学である高知小学校に通っています。これは、我が家が経済的にゆとりがある家庭だから私学を選んだのではありません。この学校の教育理念や運営方針、全国に視野を向けた活発な部活動など、それらのすべてに賛同して入学したのです。たしかに、高知小学校への入学当初は、朝7時には家を出なければならぬ生活に慣れるまでいろいろと苦労もありましたが、

それでも勉強やクラブ活動に励み、たくさんの友達もでき、学校生活はとても充実したものでなっています。

平成二十二年度からの公立高校の無償化と共に、私学への就学支援制度が実施されたことは大変有難いことですが、それでもなお公立学校と比較するとその格差は大きく、厳しい経済不況や消費税率アップによる家庭への影響もあり、私たち保護者は高い学費負担に悩まされております。

現在、高知県だけではありませんが、日本全国で「中高一貫教育」という制度が実施されています。これは、生徒や保護者が六年間の一貫した教育課程や学習環境の元で学ぶ機会を選択できるようなすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目的として開始されました。しかしながら、この制度の考え方は、私学の中学校では従来から実施しているものであり、生徒の個性を伸ばすことや社会での自立を進めるという教育方針は、どの私立中学校でも行われているものだと思います。

特に、私立中学校について

は「地元の公立中学校で全て受け入れることができるのに、あえて付加価値を求めて私学を希望しているのだから、受益者負担は仕方がない」という意見があります。事実、私立中学校に子どもを通わせる保護者は、決して少なくない授業料を負担してきました。

しかし、中高一貫校は、「希望する全ての子どもが進学できるのではなく、選抜を実施する」学校であります。その教育内容は、学校によって特色が違っており、その特色ある教育を求めて受験される子どもや保護者が多いのが現状です。地元の公立中学校に行かず、付加価値を求める子どもを選抜するこの中高一貫校は、すべて公費で運営されているのですから、教育理念や機能が非常に類似している私立中学高等学校と、公費支出の格差を設けるべきではないと思います。

将来の日本を託す子どもたちの教育、とりわけ高等学校教育は、公立・私立の高校が協力して担っています。私学は決して裕福な家庭のための学校ではないと思います。保護者の所得に関わらず、子どもは学校を自由に選べるよう、



子どもたち一人ひとりに対して支出される公費は、公立私立の分け隔てなく公平であるべきです。

すべての子どもたちが、希望する教育や部活動を安心して受けられるように、どうか、今後とも私学助成の継続と拡充をお願い致します。
ご静聴、ありがとうございます。

第二回進路説明・相談会

P T A会長

細川 洋伸



全学年保護者を対象として十月三十一日に開催しましたP T A主催「第二回進路・説明相談会」には約八十名の参加をいただき、ありがとうございました。

「聞くに聞けない子供達の旅路」と題して開催した本会では進路指導部長の福島先生に、受験についてのお話をさせていただきました。

質疑応答の時間には予定時間を大幅に超えるほどの質問をいただき大変ありがたく、また出席者からのアンケートでも次回開催のご要望を多く

いただき、皆様の子供達の進学に対する想いを感じることができました。その想いは学校とも共有し今後へ繋げてまいります。

進路や進学というものは子供達にとって人生という旅路において非常に大事な分岐点になると思います。そこで今回の様な会を開催させて頂きました。本来、進路や進学と云うものは子供だけの問題だけではなく、親の協力や理解そして親の覚悟が必要ではないでしょうか。

そして一番大事な事は親と子供との「会話コミュニケーション」であると思います、将来の展望に向け、食事をし



ながらのひと時や少しの時間を見つければ「親と子の」ベクトルを合わせ、進路、進学に向け共に準備をして頂けると幸いです。



最後に福島先生に限らずどの先生もいつでも子供達、保護者の相談に耳を傾けていただけです。特に担任の先生はクラスの子供ひとりひとりの個性を熟知し適切なアドバイスをくださいます。進路についての説明や資料はP T A総会や、支部会でも配布しております。その他学年P T Aや個人懇談などご活用いただき、子供の進路についての疑問や不安の解決にお役立ていただきたいと思ひます。

学校と保護者が一緒に子供達の夢に向かって行きましよう。

三者協力会

P T A会長

細川 洋伸

十一月二十八日、『学園ピカピカ計画 笑顔で協力！三者のワ』とスローガンを掲げ、「三者協力会」を開催しました。

当日は約八十名の保護者と生徒会を始めとして多くの生徒達の協力をいただき、校舎や周辺地域の清掃を行いました。行事を通じて普段は接点の少ない先生方、保護者、生徒たちの間でもコミュニケーションができたのではないのでしょうか。

活動後は食堂にて生徒達の用意した飲み物とお菓子のおもてなしを受けました。少し肌寒い日だったので温かいコーヒーはありがたく、またお菓子を用意するにも生徒達は創意工夫を凝らしていて、そんな風に「誰かのために…」と相手を想って知恵を出し合うことが素晴らしいと思ひました。

「三者協力会」はこれからも発展していく行事です。内容についてご提案などありましたら是非お寄せください。

平成27年度 7月以降のクラブ成績

剣道部

インターハイ
女子団体出場
(兵等・近江・島崎・田井・麻田・酒井・氏原)
男子個人出場 弘瀬
女子個人出場 兵等
高知市体育大会
男子団体優勝(唐岩・二俣・秋山・竹内)
女子団体優勝(島崎・酒井・田井)

少林寺拳法部

高校夏季大会
女子単独演武 優勝 岩村
女子組演武 優勝 濱田・中山
高校秋季大会 兼 全国高校選抜大会予選
女子単独演武 優勝 濱田(全国選抜大会出場)
女子組演武 優勝 岩村・中山(全国選抜大会出場)
男子組演武 第3位 磯久・市川

卓球部

高等学校夏季卓球大会
男子団体ベスト4
(林・是枝・門田・川口大・川口裕)
高等学校秋季卓球選手権大会
男子団体ベスト4(同上)
高等学校冬季卓球選手権大会
男子団体ベスト4(同上)

空手部

インターハイ
男子個人組手出場 大崎
女子個人組手出場 清岡

ゴルフ部

全国高等学校ゴルフ選手権大会
文部科学大臣杯争奪 第59回高校個人の部
高校男子の部出場 佐竹

弓道部

高等学校弓道夏季大会
男子団体 優勝(西川・森本・筒井・田内・山崎・岡林)
高等学校弓道秋季大会
男子個人(1年生の部) 優勝 筒井 3位 田内

柔道部

インターハイ
男子団体出場 (藤田 祐輔、浅川 悠晴、伊與木 裕也、
伊藤 智信、片岡 将太郎、福井 悠雅)
男子個人出場 60kg級… 畠山
66kg級… 藤田
73kg級… 浅川
100kg級… 伊藤
100kg 超級… 伊與木
女子個人出場 70kg級… 吉本
四国ジュニア柔道体重別選手権大会
男子個人 55kg級… 第3位：武田
60kg級… 第2位：畠山
73kg級… 第3位：浅川
100kg級… 第2位：福井
100kg 超級… 第3位：伊與木

女子個人 70kg級… 第2位：吉本
高知県高等学校柔道選手権(夏季)大会
男子個人 60kg級… 第3位：矢野
81kg級… 第3位：安藤、石村
100kg級… 優勝：福井
女子団体 第2位 (植村、山中、山本)
女子個人 52kg級… 優勝：山本
57kg級… 優勝：山中
63kg級… 第2位：植村
高知県高校柔道新人大会
男子団体 第2位
(福井、安藤、矢野、石村、山中、原)
女子団体 第3位 (植村、山中、山本)
男子個人 60kg級… 第3位：矢野
90kg級… 第2位：石村
100kg級… 優勝：福井
女子個人 52kg級… 優勝：山本
57kg級… 第2位：山中
63kg級… 優勝：植村

硬式テニス部(女子)

インターハイ
団体出場(中原・畠山・山口・宮本・清谷)
女子個人出場 ダブルス(畠山・清谷)

硬式テニス部(男子)

インターハイ
男子団体出場 (市川・箭野・上村・秋山・光内)
男子個人出場 シングルス 市川
ダブルス 上村・光内

四国総体
男子団体 第3位 (市川・箭野・秋山・上村・光内)
高知県テニス選手権ジュニアの部
18歳以下シングルス 優勝 市川
18歳以下ダブルス 優勝 市川・箭野
夏季ジュニアテニストーナメント
シングルス 準優勝 市川
高校新人戦
団体戦 準優勝 (宮脇・市川・岡本・箭野・三宮・
鞍岡・秋山・船岡・上村)
個人戦シングルス 優勝 市川
個人戦ダブルス 優勝 市川・箭野

水泳部

高知県秋季ジュニア水泳競技大会
50m自由形 優勝 100m自由形 3位
100mバタ優勝 鮫島
50m平泳ぎ 3位 100m平泳ぎ 3位 松岡
100m背泳ぎ 3位 井上

吹奏楽部

第43回 マーチングバンド全国大会
四国予選 1位 全国大会出場
12月20日(日)さいたまスーパーアリーナで行われる
全国大会に、7回連続四国チャンピオンとして出場。

ライフル射撃部

第70回国民体育大会
少年男子 ビーム・ピストル(40発) 7位
政平 誠人 高知 88.2